

2015 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	社会システム学科	科 目
-----------	----------	-----

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

この科目の既往データから見ても、Q4「授業時間以外の学習に1週あたりどれくらいの時間を費やしましたか」では、全学評点平均値より低い傾向にあり、今学期は全学平均0.69に対して0.54であった。

ただしこれ以外の8項目は、いずれも全学平均を上回る結果となっている。

社会システム学科科目は、他学科科目と比べて相対的に多い217クラスを抱えている(登録者数では、7598人でもっとも多い)。クラス数が多いだけでなく、社会システム学科科目は、カバーする専門分野も多岐にわたり幅が広い。分母の大きいこれほどの規模の大科目で、ほとんどの項目において全学平均を上回る数字が見られたのは、十分評価されるべきところだと考えられる。

また、前年度と比較でみた場合、Q6で横ばいだったのを除いて、8項目すべてでも改善が認められた。しかも、Q9以外の8項目の評価平均値は4点台で、5点満点の尺度であることを考慮すれば、ある意味高止まりの状態であるとも言える。

社会システム学科科目群の授業は全体として見ると、学生から一定水準の評価が得られる授業を提供しているといえる。ただし、講義系科目の授業、とりわけ大人数の授業は、その性格上やむを得ない面があるとはいえQ10の10項目中7項目が全学平均を下回っているという点にはまだ改善の余地があり、このことも今後の課題として残されている。

今後は個々の教員の研鑽と努力によってさらなる改善がはかられていくべきであるが、学科としては教員にFD意識の向上を促し、FD研鑽のための環境を整えるのによりいっそうの工夫が求められている。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター